

生活単元学習学習指導案

あさひ子学級 1 組 5 名 指導者 大河原 徹也
あさひ子学級 2 組 4 名 指導者 上唐 凌 武

本授業は、以下の検証を行うものである。

- 子どもたちの表出の機会を増やすことができる内容であったか。
- 子どもが言葉により表現しようという意欲を高めることができる内容であったか。

1 小 単 元 武岡地区仲よし合同宿泊学習に参加しよう

2 目 標

集団宿泊学習に向けて入浴や寝具の整え方、学校紹介の仕方などを学習したり、集団のきまりを守って、決められた日課に沿って規則正しい生活を送ったりすることを通して、友達と助け合い、協力し合って、集団の一員として自分の役割を果たすことができるようにする。

3 小単元の評価規準

- 宿泊学習を楽しみにして、自分のことは自分でしようと準備学習をしたり、当日は、友達と協力し合って、ふれあい活動を楽しんだりしようとする。 【関心・意欲・態度】
- 楽しく安全な宿泊学習になるように、どんな出し物をして、どんな準備をしたらよいかなどを考えることができる。 【思考・判断】
- 入浴、起床、就寝、食事など、自分のことは自分でしたり、学習したことを発表したりすることができる。 【技能・表現】
- 友達と協力して活動をするよさに気づき、自分でやるべきことが分かる。 【知識・理解】

4 小単元について

(1) 小単元の価値

これまで、子どもたちは近隣小中学校の特別支援学級との合同宿泊学習を南薩少年自然の家を利用して毎年経験し、そのよさや楽しさを十分に味わっている。子どもたちは毎年この行事を楽しみにしており、カレンダーを見ながら話をする姿からもそのことが分かる。宿泊学習では級友や他校の友達と寝食を共にしながら、サイクリングやアスレチックなど様々な活動を行う。このような活動は、平素の学習では体験できない魅力的な活動ばかりである。そのため、子どもたちの宿泊学習に対する興味や関心はとても高い。

一方、今年度は4名が新たに入級し、「宿泊学習とは何なのだろう。」「どんなことをするのだろう。」「お母さんと離れて大丈夫かな。」と不安を抱いていることも考えられる。

そこで、本単元において、すべての子どもたちが宿泊学習に気持ちよく参加できるように、一人一人がこれまで学習してきたことを活用しながら、必要な知識や技能などを確実に身に付け、さらにそれを、他を意識して表現していく活動を設定する。そのことにより、学んだことを自分なりに表現することは、自分の力で生活することの自信へとつながり、友達と協力して活動することのよさや楽しさを味わうことができるものとする。さらに、これらの学習をきっかけに、学んだことを日常生活において生かそうとする姿勢が生まれ、自分の生活をより豊かにしていくことができるものとする。

(2) 子どもの実態と指導

	あ さ ひ 子 1 組					あさひ子 2 組			
	児童A(2年)	児童B(3年)	児童C(3年)	児童D(3年)	児童E(4年)	児童F(1年)	児童G(1年)	児童H(2年)	児童I(5年)
仲よし合同宿泊学習に対する興味や関心	「宿泊学習はいつ?」と教師に尋ね、宿泊学習をととても楽しみにしている。	昨年度の宿泊学習の写真を笑顔で見ることが出来る。	昨年度の宿泊学習の写真から、楽しかった思い出の写真を選ぶことができる。	南薩少年自然の家のパンフレットを見ている。親と離れることに不安をもっている。	これまで宿泊学習に笑顔で参加し、宿泊学習に行くことを告げると「宿泊学習行きたい。」と言っている。	昨年度の写真を見て笑顔は出すが、初めてのことなので親と離れることに不安をもっている。	昨年度の写真を見て、「おもしろそう。」「早く行きたい。」と言っている。	「宿泊学習いつ行く。」とカレンダーを見ながら言っている。	宿泊学習に行くことを告げると「やった。」と言って大喜びし、実施日を答えることができる。

他者とのやりとりや表現の方法	日常会話ができる。文字で自分の思いを書くことができる。	模倣が多い。表現したいことを文字で書き表すことができる。	二者選択ができる。絵や文字で表現することができる。	質問に対して答えることは少ない。「だめ」「はい」と言うことができる。	質問に対して答えることは少ない。「だめ」と言うことができる。	質問に対して二語文程度で答える等簡単な会話ができる。	質問に対して三語文以上で答えるなど日常会話ができる。	「これ何？」などよく質問をする。人前で話す時は恥ずかしがる。	日常会話ができる。絵や文字で自分の思いをかくことができる。
----------------	-----------------------------	------------------------------	---------------------------	------------------------------------	--------------------------------	----------------------------	----------------------------	--------------------------------	-------------------------------

本単元では、こうした子どもたちの実態をふまえ、宿泊学習の計画や準備を通し、主に自分の思いや考えを表出する力を身に付けるための学習活動を展開する。具体的には、これまでの宿泊学習や日常生活で学んだことを活用して身の整理の仕方を身に付けたり、学校紹介で行う出し物などの準備をしたりする活動を展開する。宿泊学習中は、自分のことは自分でできるように事前の学習を想起させ、宿泊学習後は自分でできたことを大いに認め、日常生活で活用することができるように意欲を喚起する。

5 指導計画 (総時数26時間)

過程	主な学習活動	評価基準					時間
		A 児	B 児	C 児	D 児	E 児	
導入	1 前年度の宿泊学習について話し合う。 2 宿泊学習の計画について話し合う。  学習の見通しをもち、活動への意欲を喚起するために、活動のシミュレーションを行う。	関：宿泊学習のことを発表しようとする。 知：宿泊学習の日程や内容が分かる。	関：昨年度の写真を見ようとする。 表：日にちを模倣して言うことができる。	関：昨年度の写真を見ようとする。 表：日にちを模倣して言うことができる。	関：学習に参加することができる。	関：昨年度の写真を見ようとする。 知：宿泊学習の日程や内容が分かる。	2
			F 児 関：宿泊学習のことを発表しようとする。 知：宿泊学習の日程や内容が分かる。	G 児 関：昨年度の写真を見ようとする。 知：宿泊学習の日程や内容が分かる。	H 児 関：写真を見て発表しようとする。 表：日にちを言うことができる。	I 児 関：宿泊学習の楽しさを発表しようとする。 知：宿泊学習の日程や内容が分かる。	
展開	3 宿泊学習の準備をする。 ○ 出し物の内容を決める。 ○ しおりを作る。 ○ 日めくりカレンダーを作る。 ○ 日程表の確認をする。 ○ 入浴の練習をする。 ○ 寝床の作り方、たたみ方を練習する。 ○ 持って行く物を実際に学校に持ってきてバッグの整理整頓の仕方を練習する。 ○ 出発式の準備をする。  これまでの学習の様子写真を時系列に提示し、選択して表現できるようにする。	関：宿泊学習の準備をしようとする。 思：持っていく物を選択することができる。 知：入浴や持ち物の整理の仕方が分かる。 表：出し物をしたり自己紹介をしたりできる。	関：宿泊学習の準備をしようとする。 思：持っていく物を選択することができる。 知：入浴や持ち物の整理の仕方が分かる。 表：出し物をしたり自己紹介をしたりできる。	関：宿泊学習の準備をしようとする。 思：持っていく物を選択することができる。 知：入浴や持ち物の整理の仕方が分かる。 表：出し物をしたり自己紹介をしたりできる。	関：学習に参加することができる。	関：宿泊学習の準備をしようとする。 思：持っていく物を選択することができる。 知：入浴や持ち物の整理の仕方が分かる。 表：出し物をしたり自己紹介をしたりできる。	12
		関：宿泊学習の準備をしようとする。 思：自己紹介の内容を考えることができる。 知：入浴や持ち物の整理の仕方が分かる。 表：友達の前で自己紹介をすることができる。	関：宿泊学習の準備をしようとする。 思：自己紹介の内容を考えることができる。 知：入浴や持ち物の整理の仕方が分かる。 表：相手を意識して出し物をしたり自分の考えを発表したりできる。	関：宿泊学習の準備をしようとする。 思：自己紹介の内容を考えることができる。 知：入浴や持ち物の整理の仕方が分かる。 表：友達の前で自己紹介をすることができる。	関：計画表を見て宿泊学習の準備をしようとする。 思：自己紹介や出し物の内容を考えることができる。 知：宿泊学習の日程や必要な持ち物の種類が分かる。 表：相手を意識して出し物をしたり自分の考えを発表したりできる。		
終末	4 宿泊学習に参加する。 5 宿泊学習を振り返る。  新たな課題意識をもたせ、活動への意欲を持続させるために、常に学習計画表を意識させる。	表：友達と楽しく活動することができる。 表：楽しかったことや出来事を発表できる。	関：活動に参加しようとする。 表：楽しかったことを選択できる。	表：友達や教師の話聞いて楽しく活動に参加できる。 表：楽しかったことを選択できる。	関：学習に参加することができる。	関：教師の話聞いて楽しく活動に参加しようとする。 表：楽しかったことを発表できる。	12
		表：友達や教師の話聞いて楽しく活動に参加できる。 表：楽しかったことを選択できる。	関：友達や教師の話聞いて楽しく活動に参加できる。 表：楽しかったことを選択できる。	関：友達を楽しく活動しようとする。 表：楽しかったことを発表できる。	関：友達と楽しく活動することができる。 表：楽しかったことを発表できる。		

6 本時 (1/26)

(1) 目標

仲よし合同宿泊学習での活動を知り、今後の活動への意欲をもつことができるようにする。

(2) 評価規準

A児	B児	C児	D児	E児	F児	G児	H児	I児
やりたい活動名を発表することができる。	好きな活動名のカードを触ろうとすることができる。	好きな活動名のカードを選択することができる。	学習に参加することができる。	やりたい活動名のカードを選択しようとするすることができる。	やりたい活動名のカードを選択することができる。	やりたい活動名を発表することができる。	やりたい活動名のカードを選択することができる。	やりたい活動や今後の計画を発表することができる。
【技・表】	【関・意・態】	【技・表】	【関・意・態】	【関・意・態】	【技・表】	【技・表】	【技・表】	【技・表】

(3) 指導に当たって

授業全体を通して、宿泊学習は子どもたちにとって魅力的な活動がたくさんある楽しい学習であり、また、友達と寝食を共にし、協力して学習を進める機会であることを確認したい。そのために子どもたちがガイド役となり宿泊学習での活動を紹介し、実際に体験したり、活動で使う道具を見たりする活動を通して学習計画を立てることにより、その後の学習内容にも意欲をもって活動でき、体験したことによる活動への意欲が学習の見通しとともに持続できるようにしたい。

(4) 本時の展開

[] 子どもの意識  指導・手立て ※評価

時	主な学習活動と教師の手だて・評価	
10 (分)	1 VTRを視聴する。 <ul style="list-style-type: none"> これはどこだろう。 南薩少年自然の家だ。 何をするとところかな。 早く宿泊学習に行きたいな。 	<p>少年自然の家を撮影したVTRを見ることで、本時の学習の見通しをもち、めあてを焦点化できるようにする。</p> <p>子ども一人一人がめあてを読む活動を設定し、宿泊学習の意味を押さえることで、本時は宿泊学習に向けての導入場面であることが分かるようにする。</p>
	2 本時のめあてをつかむ。 <p>しゅくはくがくしゅうに行くための けいかくを たてよう。</p>	<p>子ども同士が、これまでの学習をもとに友達に宿泊学習での活動内容を紹介することにより、言葉や動作を介したコミュニケーションをとることができるようにする。</p>
30 (分)	3 宿泊学習での活動を知る。 (1) アスレチックで遊ぶ。 (2) 出し物をする。 (3) 入浴をする。 (4) 寝床を作る。 (5) 自転車に乗る。 <ul style="list-style-type: none"> 得意な○○をみんなに見てもらおう。 みんなでお風呂に入るのは楽しそうだな。 寝床を作るのは難しいな。 楽しい活動がたくさんあるね。 	<p>宿泊学習での活動を体験したり、活動で使う道具を道具を見たりすることにより、今後の学習の見通しをもつだけでなく、感じた喜びと見通した内容が一致できるようにする。</p> <p>※ 楽しい活動を発表することができる。</p> <p>○ 達成できた子どもには「ほかに言いたいことはないかな。」「もっと準備したいものはないかな。」と質問し、発表の内容や方法を増やしていく。</p> <p>○ 達成できなかった子どもには、教師の模倣をしながら一緒に発表し、模倣できたことを賞賛する。</p>
	4 本時の学習を振り返り、次の学習への意欲を高める。 <ul style="list-style-type: none"> 楽しい出し物を考えよう。 脱いだ服はまとめるよ。 寝床を上手に作りたいな。 <p>しゅくはくがくしゅうにむけて、じゅんぴやれんしゅうをがんばろう。</p>	<p>発表したこと以外にやりたいこと、友達と一緒にしたいことなどは、次の授業でじっくりできることを告げ、本時の頑張りを賞賛することで、今後も宿泊学習の準備をしていこうという意欲を喚起する。</p>